

【評価対象年度 2019年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	デイサービス忠生		
施設概要	【所在地】町田市忠生一丁目19番2号 【開設年月】2001年5月 【開館日時】月曜日～土曜日(祝日、12月31日～1月3日を除く)／8時30分～17時30分 【建物面積】253.98㎡ 【建物内容】機能訓練室100.8㎡ 静養室 11.205㎡ 相談室15.84㎡ 【建物構造】鉄筋コンクリート造 地上1階地下1階建(うち1階部分)		
設置目的	市内の介護を要する在宅の高齢者等を通所させ、介護保険法に基づくサービス等を提供することにより、その者が尊厳を保持し、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう支援するため。		
設置根拠法令・条例	町田市高齢者在宅サービスセンター条例		
所管部課	いきいき生活部高齢者福祉課	問合せ先	042-724-2141
施設ホームページURL	https://www.kaedenokaze.com/service/day-care/tadao/		

(2)指定管理者

指定管理者名	特定非営利活動法人 楓の風	法人番号	5012305000438
指定管理者所在地	町田市成瀬が丘二丁目2番2号 ワタヤビル3階		
指定期間	2019年4月1日～2024年3月31日		
指定管理業務の内容	介護保険法、町田市高齢者在宅サービスセンター条例に基づき、以下に示す事業を行う。 ・法第8条第7項に規定する通所介護 ・法第115条の45第1項第1号ロに規定する第一号通所事業		
利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
社会的自立支援アウトカム尺度(SIOS)を用いた目的のケアの実施	2023年度	10月からSIOSを開始した。評価可能となるのが開始から6か月目以降であるため、2019年度は評価実績なし。
施設新聞の発行・パンフレットのリニューアル	2023年度	10月にパンフレットを作成した。施設新聞も不定期であるが発行を開始した。
防犯カメラの設置による事故分析及び防犯	2023年度	12月に設置。転倒事故はないが、ヒヤリとした事例をもとに、適切な介助方法を検討する事ができている。

3. 昨年度の課題

内容	利用率向上を図るとともに、地域の方や自治会、利用者家族などの連携を深める取り組みを実施する。
----	--

4. 総合評価及び所見

総合評価	C	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	「2.選定時の提案内容」について、達成時期に向けた適切な進捗が確認できた。2020年度以降、定量化できる指標については年度毎に目標となる数値を定め、進捗管理をしてほしい。 「3.昨年度の課題」への対応状況について、利用率は回復傾向にあるので、引き続き営業活動に注力してほしい。地域住民との連携については不十分な点があった。 「6.業務履行状況の確認」について、地域教育機関等との交流が未実施だったため、2020年は積極的な取り組みを行ってほしい。 来年度の課題としては、引き続き利用率向上を図るとともに地域住民及び地域教育機関等と連携を行い、地域に根差した運営をしてほしい。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	年度途中よりシステムを導入し通所介護計画などのPDCA業務をスムーズに行う事ができるようになり、目標を明確にすることができるようになった。また、職員が施設内で閲覧することもでき目標・目的を共有する事ができるようになった。また、SIOSを実施することで利用者が主体的に活動と参加をすることを目指せるようになった。 利用率については目標を達成する事はできなかったが、パンフレットのリニューアル、施設新聞発行を行い、対面営業を実施した。結果、2020年2月には利用率70%まで回復した。今後も居宅への営業、施設新聞の発行を行い新規獲得を目指す。また、利用者の活動をより目的的に充実したものにする。防犯カメラを設置したことで、介護事故予防に努めることができていると感じている。適切な介助方法などの検討が行えた。 今年度は地域との交流が不足していた。来年度は地域交流の場を設けることができるよう積極的な地域住民との交流を考えていきたい。	

【評価対象年度 2019年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者満足度調査】

調査概要	【調査期間】 2020年2月20日～3月11日
	【配布枚数】 64枚 【回収枚数】 46枚 【回収率】 71.9% 【調査方法】 利用者への説明及び必要な方は家族へ説明を行い配布する。回収用の投函ポストを設置。自身で投函する事ができない方は連絡帳袋に入れて頂き、職員がポストに投函する。

指標1	評価基準	目標	結果	評価
利用者満足度	A:85%以上 B:70%以上～85%未満 C:70%未満	90%	90.9%	A

指定期間内における実績(単位:%)

年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	90	90	90	90	90
実績値	90.9				

指標2	評価基準	目標	結果	評価
利用率 (1日あたり平均)	A:90%以上 B:80%以上～90%未満 C:80%未満	80%	64.3%	C

指定期間内における実績(単位:%)

年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	80	80	85	90	90
実績値	64.3				

指標3	評価基準	目標	結果	評価
社会的自立支援アウトカム尺度(SIOS)を用いた目的のケアの実施	SIOSスコアの前年度(前回)からの維持改善率 A:90%以上 B:80%以上～90%未満 C:80%未満	-	-	-

指定期間内における実績(単位:%)

年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	-	90	90	90	90
実績値	-				

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	概ね水準どおりである。 利用者満足度調査は、事業者の自己評価にも活用しているため、回収方法を工夫し、回収率の向上に努めてほしい。 利用率については、目標を下回っており、目標値との開きもあるため、広報活動等を工夫し、改善に向けて取り組んでほしい。 利用者満足度は目標値を上回っていた。今後も利用者の意見を収集できる機会を活用し、満足度の向上に努めてほしい。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

【評価対象年度 2019年度】

6. 業務履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	平等・公平な取扱い	利用希望者全ての受入	介護度で区別を行わず希望者すべてを受入していることをヒアリングで確認。	適
	サービス内容の公開	パンフレット、ホームページなどでサービスの内容を公開	パンフレット、ホームページでサービス内容を公開していることを各種媒体で確認。	適
施設・設備の運営方針	適正な自己評価	定期的な実施	定期的な自己評価を実施していることをヒアリングで確認。	適
	設備機器安全管理・保守点検	機器に応じた点検の実施	機器に応じた点検実施を保守点検票で確認。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報の適切な保管	保管場所のセキュリティを確保	紙媒体は鍵付き書庫で保管し、電子データはID、パスワードで管理していることをヒアリングで確認。	適
	情報公開の制度を周知	利用者等に制度を説明	契約時に個人情報の取扱について説明していることをヒアリング及び契約書で確認。	適
要望対応	対応記録の共有	要望・苦情記録簿等による情報共有	マニュアルに基づいて報告書を作成し、情報共有をしていることをヒアリングで確認。	適
	苦情の発生抑制のための対策	相談窓口の周知	契約時に苦情相談窓口について説明していることをヒアリングで確認。	適
危機管理	緊急時に備えた体制	マニュアルに沿った指導訓練の実施	マニュアルに沿って年2回の避難訓練を実施していることをヒアリング及び議事録で確認。	適
	リスクへの対応能力	保険等への加入	賠償責任保険に加入していることを保険証券の写しで確認。	適
人的安定性	職員の指導育成	計画的な研修の実施	計画的に研修を実施していることを年間計画表及び研修資料で確認。	適
	適切な人員配置	法令を遵守した人員配置	必要な職種について適正な勤務体制が組まれていることを勤務表で確認。	適
管理経費の縮減	管理経費の縮減に向けた取り組み	光熱水費や消耗品などの経費の縮減	消耗品購入時、複数事業所を比較し通常の価格より安価に仕入れ、経費削減していることをヒアリングで確認。	適
	職員への周知・啓発	職員への周知・啓発の実施	施設内に節水や空調温度に関する掲示をし、周知・啓発を実施していることをヒアリングで確認。	適
地元貢献	地域教育機関等との交流	実習生や仕事体験・ボランティアの受け入れ	未実施であることをヒアリングで確認。	否
	市民雇用	町田市民の割合が50%以上	職員12名中町田市民が7名であり、割合が58%であることを職員名簿で確認。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
否	一部の項目について要求水準に満たしていない点があった。 【改善が求められる点】 実習生や仕事体験・ボランティアの受け入れについて、受入れ実績が確認できなかったため、受け入れ実績を増やすための取り組みを行うよう指導した。

【評価対象年度 2019年度】

7. 財務・収支状況の確認

(1) 指定管理事業

単位:千円

項目	年度	2019		2020		2021		2022		2023	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	0	0	0		0		0		0	
	利用料金	53,500	57,063	54,570		55,661		56,774		57,911	
	自主事業	0	0	0		0		0		0	
	その他	400	59	408		416		424		433	
	計	53,900	57,122	54,978	0	56,077	0	57,198	0	58,344	0
支出	人件費	32,280	30,075	32,603		32,929		33,259		33,591	
	維持管理経費	11,267	10,033	11,374		11,482		11,590		11,700	
	自主事業	0	0	0		0		0		0	
	その他	3,500	4,496	3,535		3,570		3,606		3,642	
	計	47,047	44,604	47,512	0	47,981	0	48,455	0	48,933	0
総計(収入-支出)		6,853	12,518	7,466	0	8,096	0	8,743	0	9,411	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2019	2020	2021	2022	2023
経常利益率	0.5				
負債比率	70.1				

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	指定管理事業は概ね適切な執行であり、安定的に運営できていた。